

ポイント

① 文中の「む」(連体形)は婉曲か仮定(ただし文中でも「む」の下に「と」「とて」や、文末強調の終助詞「ぞ」「かし」などがある場合は除く)

—む—

② 「む」+体言↓婉曲(たまに仮定)

・人に憎まれむ婉曲↑体言 ことこそあるべけれ

(||人に憎まれるようなことがあるに違いない)

③ 「と」の上の「む」↓まず意志から入る↓意志でなければ推量(たまに勧誘)

・われも行かむ意志↑ と思ひて(||私も行こうと思って)

④ 一人称(私)を受ける「む」↓意志

・われ御子に代りて海に入りなむ
意志↓
(||私が御子みこに代わって海に入ろう)

⑤ 二人称(あなた)を受ける「む」↓適当・勧誘

⑥ 三人称(私・あなた以外)を受ける「む」↓推量

・雪降らむ推量
(||雪が降るだろう)

⑦ 「む」 + 助詞 ↓ 仮定

むは
むに
むも
むこそ

ときたらまず仮定から入る
(仮定でなければ婉曲)

・ありのままに言は^仮むはをこがまし

(|| ありのままに言ったならば、それはばかげている)

・よくつかうまつりたら^むにしたがひて

(|| うまく詠み申し上げたならば、それにしたがって)

・父宮の尋ねいで給へら^むも

(|| 父宮がお尋ねなされたならば)

・仏になりたら^むこそは

(|| 仏になったならば)

プラス

「くは」ときたら仮定 ↓ 形容詞型活用の連用形
「く」 + 係助詞「は」 (助動詞「べし」「まじ」も同じ)

・切りぬべき人なくは、たべ、切らん

(|| 切るはずの人がいないならば、ください。私が切りましょう)

・恋しくは来ても見よかし

(|| 恋しいならば来てあいなさいよ)

⑧ 適当・勧誘の場合は「こそーめ」の形をとることが多い
↓入試では適当・勧誘はセットで二人称(あなた)を受ける

勧誘

・あるがなかによからむをこそは選りて思ひたまは^⑧め
(||数ある中から特によいようなものを選んでお思いな
さるのがよいだろう)

※「じ」は「む」を打ち消したものと覚えておこう

《ハイレベル》

「む」本来に可能の意味はないけど「む」の下に疑問ま
たは反語を表す語がある、または「なむ・てむ」と
「む」の上に強意の助動詞があると、可能推量(デキル
ダロウ)となる時がある

強可推反

・よみて^⑧む^⑧やは

(||詠むことができるだろうかいやできない)

強可推反

・今の翁まさにしな^⑧む^⑧や

(||今の老人がまさにすることができるだろうかいや
できない)